

東三河ビジネスプランコンテスト2001-2005のフォローアップ

— 新事業創出のマネジメント —

片岡 眞 吾

今日のビジネスは分野を問わず地域の社会経済の活性化を担う原動力として期待されている。東三河ビジネスプランコンテストは新規性・独創性あるビジネスプランと前途有望な起業家を発掘し、起業・創業の多角的な支援と新事業の育成を目的として2001年に始まった。コンテストは当初より事務局をビジネスインキュベータの株式会社サイエンス・クリエイトが担当し、地域の産学官からコンテストを主催する実行委員会を組織して企画・運営している。ビジネスプランの作成は異質なモノが交流する創造的活動の第一歩である。本論は新たなビジネスの創出と産業育成について基本的考え方を示し、東三河ビジネスプランコンテストの5年間の実施状況と起業・創業の実情を報告する。

Key Words : Business plan / Creative business / Management / Social network model

はじめに

はじめに東三河地域の概要とコンテストの経緯を述べる。次にコンテストの骨子となった社会ネットワーク型産業育成および革新的なビジネスとマネジメントについての基本的考え方を示す。コンテストに関する実施状況は5章で、審査後のビジネスプラン追跡調査を6章で報告する。ビジネスインキュベータの機能を述べ、その主な活動内容を7章で報告する。

東三河地域とは、愛知県東部にある中核市の豊橋市ならびに豊川市、蒲郡市、田原市、新城市の5市と周辺の6町村を含む地域である（愛知県人口の約2割、76万人、県面積の約1/3、県内総生産の約1割、3兆4千億円、第1次産業2.5%、第2次産業49.5%、第3次産業48.0%¹⁾）。豊川水系に広がる先進的な農業は国内で有数の出荷

額を誇り、製造業はものづくり愛知を支える。自動車の輸出入では世界トップクラスの三河港²⁾、東海道新幹線、東名高速道路はじめ静岡県や長野県を結ぶ物流環境にも恵まれている。地域の人材育成と知識・情報を創造する大学研究機関は、経済、人文、社会、教育、福祉、医療そして科学技術におよぶ分野の5つのキャンパスがある。

東三河ビジネスプランコンテスト³⁾は、中小企業総合事業団（現在の中小企業基盤整備機構⁴⁾）平成13年度新事業開拓支援助成金交付ならびに東三河産業支援ネットワーク会議と東三河サイエンス・クリエイト21推進協議会などの後援によって2001年に始まり、毎年続けられ2006年で第6回となる。コンテストの目的は、新規性・独創性あるビジネスプランと前途有望な起業家を発掘して起業・創業の多角的な支援と新事

1) 平成16年度あいちの市町村所得（Webあいち統計のページ内） <http://www.pref.aichi.jp/toukei/>

2) 三河港の概要（三河港務所のページ内） <http://www.pref.aichi.jp/kensetsu-somu/mikawa-komu/>

3) ビジネスプランコンテスト（株式会社サイエンス・クリエイトのページ内） <http://www.tsc.co.jp/>

4) 独立行政法人中小企業基盤整備機構 <http://www.smrj.go.jp/>

業の育成である。コンテストの募集対象者は、東三河地域において創業・新分野進出を目指す個人・法人（2005年から学生部門を設けたが、学生は従前より応募していた）で、当該コンテスト実施年度の前年以降に創業・新分野進出をした法人や個人を含んでいる。事務局はビジネスインキュベータの株式会社サイエンス・クリエイトが担当し、コンテスト主催者の実行委員会を組織して審査会、表彰、プラン集発行などを企画し運営している。

1 社会ネットワーク型産業育成

今日の社会は市民・産業・行政の三者のネットワーク組織と見ることができる。地域の社会経済の問題はこのネットワーク組織の問題である。この三者のコミュニケーションを図り、ビジネスを原動力に地域の社会経済を活性化して新産業を育成する戦略的発想を“社会ネットワーク型産業育成”と呼んでいる⁵⁾。

社会ネットワーク型産業育成は、ビジネスプランコンテストを起点にした新たなビジネスの創出と産業育成の基本的考え方である。すなわち、地域の究極的資源は人々である。異質な人々の交流こそが創造的活動である。ビジネスは起業家の独創的な構想による問題提起で開始される事業活動が展開されて創造的な問題解決にいたる。新たなビジネスプランは、潜在するニーズとシーズを顕在化し、売り手と買い手が交流する新たな市場と事業活動の連鎖を創出して新たな産業を育成する。

東三河ビジネスプランコンテストは、地

域の創造的活動を促す革新的ビジネスを期待している。コンテストは産学官の連携による実行委員会組織が主催し、地域の社会経済の問題解決と革新に貢献する起業促進に向けて市民・産業・行政が交流する場を提供している。また、事務局と実行委員会は、豊橋市の中小企業技術者研修の一環で実施されている新事業開発事業化研修と並行して、コンテスト応募者を含め、広く参加者を募り“新事業創出研究会”を続けている。社会経済、科学技術、市場の状況とビジネスの変化を体感し、大局的先見性を磨く場としてこの交流活動を活かし、多彩な新事業の創出を祈念している。

2 ビジネスは設計・計画できる

ビジネスとマネジメントは人々の創造的活動と考えられる。ビジネスは売り手と買い手が交流する創造的活動である⁶⁾。マネジメントはビジネスにおける活動を組織して計画し、実行し、統制するサイクルがある。ただし、社会経済、科学技術などの状況でビジネスとマネジメントは変化する。

(1) イノベーションとビジネス

イノベーション過程は急進的な変化を社会経済におよぼし、ビジネスの成立やマネジメントに関わる前提条件も変わる。これらの変化が新事業創出の機会と考えられている。産業革命で我々はエネルギーの駆使方法と物質変換の方法による生産の方法を学んだ。同時に情報についての理解を深めることで組織とは情報を製造し変換するシステムであることが分かった。つまり、組織は情報を読み、書き、記録し、それを処

5) 中野和久他, 社会ネットワーク型産業育成～東三河における創造的活動事例 日本創造学会第21回研究大会論文集, pp.49-52, 1999

6) 片岡眞吾 創造的企業経営のための情報レオロジー 日本創造学会論文誌, pp.11-15 Vol.2, 1998

理し、事物を考え、問題を解決していくシステムである。

科学は事物の構造を理解して真理を探究する。この科学を基礎にもつ技術は、ある目的や機能にあわせて構造をつくりだそうとする。ビジネス活動とその組織も、その真の使命を達成するために、我々の論理的思考と有用な知識、技術、そして事実に基づく情報から構築できる。

(2) ビジネスの使命

さて、ビジネスの使命とはなんであろうか。需要を生みこれに応える製品やサービスを生産して供給する人々の活動プロセスの全過程にビジネスを見出せる。すなわち、産業の生産活動すべての過程でビジネスは存在する。しかし、今日の産業をとりまく社会の構成として行政と市民を無視できない。行政は政策や法制度などで産業社会の秩序と成長に影響する。また今日の市民社会は生活世界に内在する危機意識や欲求を価値軸として人々や集団が自発的に連帯しつつ、行政や産業に対しても働きかけている。したがって、ビジネスはこの三者が共有する問題の解決に貢献する使命があろう。

(3) ビジネスのシステム特性

ビジネスはシステムと考えられる。市場を介してビジネスを視ると、買い手と売り手という異質なモノの交流活動がある。買い手の欲求を基本情報とすれば、これに応える売り手の製品やサービスという商品が派生情報になる。すなわち、ビジネスは基本情報に応じて派生情報を提供する活動があり、様々な市場を介して利害関係者相互の情報連鎖を展開していると考えられる。ビジネスを構成する利害関係者は、ある活動では競合関係を、また別の活動では依存関係をもって協働している。

(4) ビジネスのコンセプト

実際に成功しているビジネスには、顧客は誰で、顧客価値に応える筋書きがある。したがって、その前提には事業活動のプロセスに関する包括的な視点と、事業活動を実現する組織の規範となる仮説がある。これらが社会的にも経済的にも整合性を保ち、ビジネスを成功へと導く指針となっている。よって、社会的にも経済的にも成功するビジネスの設計・計画には、システム発想と比較的広範で長期的な視野をもった戦略的思考が有用と考えられている。

3 ビジネスのシステム発想

ビジネスに関連するシステムは、常に特定の目的を達成するために構成されている。システムとは、ある特定の目的を達成するために人為的に配列され、関係づけられた諸能力（人、設備、材料、情報）の集合である。システム設計の基本として存在するのが設計方法である。方法とは考え方と設計や計画をまとめる手順にはかならない。論理的思考と有用な知識と技術そして情報がその源泉である。

組織は社会的存在であり、協働のために意図的に構造化された活動や諸力のシステムである。ビジネスのプラン作成は、活動の機能と組織の目的を達成し社会的な使命を遂行するために、諸能力を集め、人為的に配列し、関係づける活動である。計画・実施・統制のサイクルを機能させてビジネスを実践する組織のマネジメントにおいて、プラン作成は起業家が直面する最初の重要な課題である。

4 ビジネスプランと戦略的思考

状況の変化を察知して硬直化したビジネスを革新するためには、異質なモノとのコミュニケーション機能が前提として働いている。したがって、独創的ビジョンは、起業家のコミュニケーション機能を整えるマネジメント能力と新たな価値を共創できる創造性によるものと考えられる。物事を成功させる定石として、大局的先見性と論理性を兼ね備えた戦略的思考法がある。

(1) Business

“ビジネス”は“Business”の英語発音をカタカナ表記し外来語として使われている。ビジネスは今日の社会経済を支えている実業分野の事業や事業組織を指す。狭い意味では、商売、仕事、職務の意味で使われ、事業の具体的内容や人々の職業、仕事を指す。したがって、ビジネスは事業や仕事の活動と、そこで働く人や提供するサービスや製品、それらを生み出す技術、ノウハウ、などから構成されているシステムと考えられる。

(2) Plan

“プラン”もビジネスと同様に“Plan”のカタカナ表記で通用する外来語である。一般的には計画、設計、立案、目論む、などを意味する。ビジネスプランは事業、組織、仕事、製品、サービスを対象とする計画・設計・案となる。勿論、これら対象のすべて、あるいはこれらの一部のプランもビジネスプランであろう。

(3) Vision

既存のビジネスであれば、各要素の特性や構造を分析して目的や機能も理解できる。しかし、新たなビジネスのプランでは、目的や機能を果たすための要素と構造を青図で示すことになる。設計・計画に不可欠

な要素として、まず、目的、機能、使命がなければならない。これらの重要な要素は、自分が想像して描いたビジョンによって具体的になる。

独創的なビジョンは未だ遭遇したことのない潜在顧客がもつ欲求とそれに応える未知の製品やサービスそして技術やノウハウさえも見出すことができる創造的なものである。また、独創的ビジョンは、変化を察知して新たな価値を創出し、さらにその価値を高めて競争に一步先んじる機会を生む。

5 ビジネスプランコンテスト

5年間の状況

東三河ビジネスプランコンテストは下の通り、サイエンス・クリエイトが事務局となり、主催する実行委員会を産学官から組織し、募集、書類審査、審査会プレゼンテーション、表彰式、東三河ビジネスプラン集の発行をしている。応募件数は30から50

東三河ビジネスプランコンテスト 実施プロセス

募 集 (7月～10月)

↓ (株)サイエンス・クリエイトのHP、ポスター、新聞各社、などで広報し、公募

書類審査 (11月から12月)

↓ 実行委員会は書類を点検、審査委員会での発表対象候補を選出

審査会 (翌年1月)

↓ 審査委員会は、応募者の書類とプレゼンテーションを審査し、各賞を選考

表彰式 (2月)

↓ 最優秀賞、優秀賞、特別賞を授与

東三河ビジネスプラン集の発行

(株)サイエンス・クリエイトが第1回の2001年度コンテストより毎回発行して公表

◆応募書類：

コンテスト参加申込書（連絡先、事業概要）
添付書類（企画書A4用紙10ページ以内、写真、カタログ、その他の添付資料）

程度へ増える傾向にある。審査を経てプラン集へ採録された過去5年間のプランは、延べ207件に達した。コンテスト実施状況の概要を応募状況や受賞ビジネスプランなどで以下に示す。

(1) 応募者と受賞者の統計

応募者の出身地域は豊橋市が7割を越えているが、徐々に地域外へも広がり、応募件数も第4回から増加している。しかし、受賞率は12%前後になっている。

表1 応募者と受賞者の統計(第1回2001年～第5回2005年)

(a) 応募者住所と件数

住 所	1回	2回	3回	4回	5回	計	%
豊 橋	32	25	20	35	48	160	77.30
豊 川	3	5	4	2	2	16	7.70
蒲 郡	0	1	1	1	1	4	1.90
宝飯郡	1	0	1	1	0	3	1.40
田 原	0	2	0	1	0	3	1.40
新 城	0	0	1	0	1	2	1.00
北設楽郡	1	0	0	0	0	1	0.50
名古屋	0	2	1	1	0	4	1.90
岡 崎	0	0	0	1	2	3	1.40
西 尾	0	0	1	0	1	2	1.00
静 岡	2	1	0	0	1	4	1.90
岐 阜	0	0	0	1	0	1	0.50
山 口	0	0	1	0	0	1	0.50
東 京	0	0	1	1	0	2	1.00
大 阪	0	0	0	0	1	1	0.50
合 計	39	36	31	44	57	207	100

注) 第4回から応募件数が増加しているが、それまでの事業分野別募集から部門別へ変更したことなどによると考えられる。

資料：第1回から第5回の“東三河ビジネスプラン集”
株式会社サイエンス・クリエイト発行

(b) 応募者の年齢別と性別の応募件数

年 齢	1回	2回	3回	4回	5回	計	%
10	0	0	0	0	22	22	11
20	6	11	5	5	3	30	14
30	8	8	5	13	7	41	20
40	17	4	8	10	10	49	24
50	7	12	11	7	10	47	23
60	0	1	2	5	2	10	5
70	0	0	0	1	1	2	1
不 明	1	0	0	3	2	6	3
合 計	39	36	31	44	57	207	100

注) 応募者または代表者の年齢別応募件数

性 別	1回	2回	3回	4回	5回	計	%
男 性	32	32	24	31	27	146	79
女 性	7	4	7	13	8	39	21
合 計	39	36	31	44	57	207	100

注) 応募者または代表者の性別と応募件数
但し10代グループの性別は不明

(c) 受賞件数／応募件数

賞区分	1回	2回	3回	4回	5回	計
最優秀	1	1	1	2	2	5
優 秀	1	1	1	2	3	5
特 別	1	3	2	1	3	7
受賞率	3/39 (8%)	5/36 (14%)	4/31 (13%)	5/44 (11%)	8/57 (14%)	25/207 (12%)

(2) 事業分野 (2001～2003)

第3回までは地域の社会経済が抱える主な課題を実行委員会で検討し、表2の事業分野を挙げて募集した。環境技術活用事業が21%と多いが、コンテスト実施以前から当地域ではリサイクルや廃棄物処理に関係する研究会もあり、さらに環境問題の関心が世界的に高まった時期と一致する。

(3) コンテスト部門 (2004～2005)

実行委員会は第4回から応募者の増強と新たな市場や技術の創出そして多彩な発想を期待してマーケット開拓、技術開発、アイデアの3部門を設けた。第5回は既存の3部門に加えて小・中・高等学校そして大学などの在学生を対象とする学生部門を設け、審査会および表彰を企画した。4部門の状況は表3に示す。

表2 事業分野別応募件数 (第1回～第3回)

事業分野	1回(2001年)	2回(2002年)	3回(2003年)	計	%
中心市街地活性化事業	9	9	9	17	14
環境技術活用事業	11	11	11	26	21
農業農村支援事業	2	2	2	11	9
高齢者支援・福祉事業	5	5	5	7	6
NPO新事業	1	1	1	6	5
情報サービス事業	分類なし	分類なし	分類なし	5	4
その他	21	21	21	50	41
合 計	49	49	49	122	100

注) 第1回から3回までの募集パンフレットに事業分野を明示し、応募者にアンケートをしていた。集計はアンケート結果を参考に片岡らがプラン内容から分類集計した。ただし、複数分野にまたがるプランがある。

表3 コンテスト部門別応募件数 (第4回・第5回)

- マーケット開拓部門 (2004～)
 - ▶マーケットの開拓に挑戦しているビジネスプランの部門
 - ▶製品やサービスを提供する新たなマーケットの開拓に挑戦しているもの
- 技術開発部門 (2004～)
 - ▶新たな製品や技術の開発に挑戦しているビジネスプランの部門
 - ▶特許や技術を核に新たな製品や技術の開発に挑戦しているもの
- アイデア部門 (2004～)
 - ▶新たなビジネスの開拓に挑戦しているアイデアの部門
 - ▶生産や流通ならびに製品やサービスの工夫とアイデアでビジネスの開拓に挑戦しているもの
- 学生部門 (2005～)
 - ▶上記の部門を問わず、小・中・高等学校及び大学などの在学生の部門

(a) 部門別表彰件数/部門別応募件数

部 門 \ 回	4回(2004年)	5回(2005年)	計
マーケット開拓	2/12	1/12	3/24
技術開発	1/7	1/7	2/14
アイデア	2/25	2/13	4/38
学 生	なし	4/25	4/25
計	5/44	8/57	13/101

(b) 部門と賞区分別受賞件数

部 門 \ 賞区分	最優秀賞	優秀賞	特別賞	計
マーケット開拓	2	なし	1	3
技術開発	2	なし	なし	2
アイデア	なし	4	なし	4
学 生	なし	1	3	4
計	4	5	4	13

(4) 受賞者とビジネスプラン

コンテストで受賞したビジネスプランの概要を応募者そして主題で一覧した。この受賞プランの概要はサイエンス・クリエイトのHPでも比較的详细なものが一覧されている。さらに詳細なプランは東三河ビジ

ネスプラン集を参照してほしい。表4はサイエンス・クリエイトがコンテスト後に毎年発行した東三河ビジネスプラン集 2001～2005とサイエンス・クリエイトのホームページなどから作成した。

表4 コンテスト受賞者と受賞ビジネスプラン一覧 (2001～2005)

(a) 第1回 東三河ビジネスプランコンテスト2001 受賞者一覧

○最優秀賞…賞状・賞金30万円 ○優秀賞…賞状・賞金10万円 ○特別賞…賞状・記念品

区 分	応 募 者	テ ー マ
最優秀賞	佐藤善宣・中島良治 (共同) (豊橋市)	除骨省力機製作
優 秀 賞	浜崎 収 三信建材工業㈱ (豊橋市)	超低圧と毛管現象によるエポキシ樹脂注入法
特 別 賞	大嶽育三・渡辺茂春 (共同) (豊橋市)	廃棄物処理システム装置の研究開発業

注) 応募件数40件の内9件が審査会でプレゼンテーションを実施

(a) 第2回 東三河ビジネスプランコンテスト2002 受賞者一覧

○最優秀賞…賞状・賞金30万円 ○優秀賞…賞状・賞金10万円 ○特別賞…賞状・記念品

区 分	応 募 者	テ ー マ
最優秀賞	川本玲子ほか (豊橋市)	自在移動車いす製造
優 秀 賞	馬場正博 専光技研 (豊川市)	水浄化プラント
特 別 賞	河合久美子ほか (田原町)	うずらによる化粧水開発
	原田昌宏ほか Kファクトリー (豊橋市)	車いす修理販売
	栗田泰生 ㈱栗田工業 (豊橋市)	ツインほっと

注) 応募件数40件の内9件が審査会でプレゼンテーションを実施

(c) 第3回 東三河ビジネスプランコンテスト2003 受賞者一覧

○最優秀賞…賞状・賞金30万円 (または設立登記手続の無償代行および豊橋サイエンスコア事務所無償利用1年分)

○優 秀 賞…賞状・賞金10万円 (または豊橋サイエンスコア事務所無償利用1年分)

○特 別 賞…賞状・記念品

区 分	応 募 者	テ ー マ
最優秀賞	森田通夫 大栄㈱ (豊橋市)	栽培環境改善システム
優 秀 賞	大西国光 ㈱OKトータルサービス (豊橋市)	レジスター防犯装置
特 別 賞	豊田能史 成和环境株式会社 (豊橋市)	業務用生ごみリサイクルシステム
	鈴木章仁 (豊川市)	無排水循環水耕システムによる安全・安心な野菜作り

注) 応募件数31件の内11件が審査会でプレゼンテーションを実施

(d) 第4回 東三河ビジネスプランコンテスト2004 受賞者一覧

- 最優秀賞…賞状・賞金10万円（または豊橋サイエンスコア事務所無償利用1年分）
 ○優秀賞…賞状・賞金5万円
 ○特別賞…賞状・記念品

区分	応募部門	応募者	テーマ
最優秀賞	マーケット	橋本守道 システム販売（宝飯郡）	価値ある住宅作り
	技術開発	神谷 馨 (株)メガネ流通センター（豊橋市）	新構造メガネフレームの開発・製造・販売事業
優秀賞	アイディア	鈴木義弘 ベル・ファーム（豊橋市）	柿苗木の市民への委託生産システム
	アイディア	都築秀夫 エルアンドエムインターナショナル（豊橋市）	農産物輸出事業
特別賞	マーケット	三浦立雄 (有)サンリフォームサービス（豊橋市）	木製品による骨壺の販売

- マーケット開拓部門：応募12件、その内の審査会プレゼンテーション3件
 ●技術開発部門：応募7件を掲載、その内の審査会プレゼンテーション4件
 ●アイディア部門：応募25件を掲載、その内の審査会プレゼンテーション6件

(e) 第5回 東三河ビジネスプランコンテスト2005 受賞者一覧

- 最優秀賞…賞状・賞金10万円（または豊橋サイエンスコア事務所無償利用1年分）
 ○優秀賞…賞状・賞金5万円
 ○特別賞…賞状・記念品

区分	応募部門	応募者	テーマ
最優秀賞	マーケット	神藤俊郎 豊橋合同印刷(株)（豊橋市）	紙媒体の冊子等を電子化する電子ブック
	技術開発	山本俊三 (株)ディビーエス（豊橋市）	鉄筋工事に関連した定着金物の開発
優秀賞	アイディア	内藤弘子（豊橋市）	自宅用シューズ自動洗濯器具
	アイディア	白柳剛（豊橋市）	有機廃棄物と授産所の人材を活用する農業
	学 生	副島誉大（阪南大学、大阪府）	IC免許証を利用した新しい安全対策手法
特別賞	学 生	吉田方中学校2年2組3班（豊橋市）	防犯カメラ付きソーラ電灯
	学 生	松葉小学校6年1組カメチーム（豊橋市）	花園商店街限定品で商店街をお客様でいっぱいにしちやおうプラン(花園商店街活性化)
	学 生	松葉小学校6年2組トラチーム（豊橋市）	グリーン&フラワーで明るさ倍増 個性だしちやおう計画(ときわ通り商店街活性化)

- マーケット開拓部門：応募12件、その内の審査会プレゼンテーション6件
 ●技術開発部門：応募7件を掲載、その内の審査会プレゼンテーション4件
 ●アイディア部門：応募13件を掲載、その内の審査会プレゼンテーション4件

6 東三河ビジネスプラン進捗状況 BPA調査

東三河ビジネスプラン集（2001年から2005年）に掲載されたビジネスプラン207

件の進捗状況を応募者宛にアンケート調査（：BPA調査と以下略す）した。BPA調査は第6回東三河ビジネスプランコンテスト実行委員会がアンケート事項を検討し、事

務局サイエンス・クリエイトによって2006年9月から郵送による調査を実施した。アンケート集計結果は11月の実行委員会において「東三河ビジネスプランアンケート集計結果」として報告された。

アンケート回答は30件、回収率は11%と全体像を把握するには少ない。しかし、アンケートの回答にその他記述欄へ進捗レポート、支援要求、そして関連する新聞記事などを添付しているものがあった。回収できていない応募者への再調査と並行して、事務局は引き続き電話などでのヒヤリング調査を行っている。

本論では、11月時点の報告をもとにアンケート設問事項の説明と集計結果、ならびに事務局による追加調査の記録をもとに要約してコンテスト審査後のビジネスプラン進捗状況をまとめた。

(1) アンケート集計結果

BPA調査は207件のビジネスプランについて応募者へ進捗状況と、それに伴う課題や必要とされる支援などを表5で示す設問を設けてアンケートを実施した。

アンケートの問1は事業活動の進捗を知るため、3段階に別けて質問した。

問2は法人登記で会社設立による事業活動の開始を知ることができる。しかし、当該のビジネスプランを既設組織の新規事業として法人の変化が無い場合もある。

問3は①の売上高と②の従事者数から、事業規模や雇用への貢献を見ている。

問4は新たな技術や製品などの新規性や独創性の評価と共に特許権などを取得した事業段階に到ったことを知ることができる。

問5にあるその他を除く4項目は、一般に起業・創業時期における代表的な課題である。収益に直接関係する販路開拓や拡大

が第1の課題に多く挙げられている。

アンケート用紙にはその他記述欄があるが、具体的な支援要求や事業の状況などが寄せられた。これらは次の(2)節で要約して報告する。

表5 東三河ビジネスプラン追跡調査結果

問1. 事業の進捗状況について (有効回答30件)

1. 実施中	16 (53%)
2. 実施予定	3 (10%)
3. 事業撤退	1 (3%)
4. その他	10 (33%)

問2. 法人登記について (有効回答29件)

1. 登記済み	12 (41%)
2. 登記予定	0 (0%)
3. 登記予定なし	17 (59%)

問3. 平成17年の事業実施状況 (有効回答19件)

① 売上金額

100万円未満	11 (58%)
100万円～499万円	2 (11%)
500万円以上	6 (32%)

② 事業に従事する人数

1名	9 (47%)
2～5名	7 (37%)
6名以上	3 (16%)

問4. 特許、実用新案の状況 (有効回答12件)

登録済み	7
申請中	5

問5. 現在の課題について (有効回答23件)

順位 \ 項目	1	2	3	4	5
1. 資金調達	6	3	1	2	1
2. 販路開拓, 拡大	9	7	2	3	0
3. 業務提携	4	5	1	3	1
4. 技術支援	5	0	5	0	1
5. その他	7	0	1	0	1

(2) アンケート記述欄要約

表6はBPA調査アンケート項目の「その他記述欄」の回答記録①, およびビジネスプランの進捗に合わせて個別にビジネスインキュベータのサイエンス・クリエイトが支援を行った記録②から要約したものである。表7ではBPA調査でもれたビジネスプランをサイエンス・クリエイトの支援記録から要約したものである。

新規性と独創的なビジネスプランやコンテスト後に事業の進展が見られたものは、報道機関にも取り上げられ、支援を得て見本市出展そして地域プロジェクトへの参画も果たしている。さらに着実に実績を積み

ことで産学連携ビジネス大賞や愛・地球賞などの様々な顕彰事業による高い評価を得ている。

技術開発部門のビジネスプランには、研究開発段階において中小企業研究開発補助金などによる研究開発や特許取得などの支援をうけている。さらに、開発した技術は経済産業省の新連携対策事業認定の支援を受けるなどして、他企業や大学などの研究機関と連携して実証実験から販売活動へと展開している。また、公的な第三者機関による認証などを受けて商品化の具体的な段階へ着実にステップアップしているものがある。

表6 アンケート調査記述欄の回答と事務局の追跡調査記録の要約

応募者・所属 「ビジネスプラン」	(コンテスト履歴)	ビジネスプランの進捗状況 (①回答記述 ②支援と追跡調査記録)
平塚元久 (株)エイム 「パケット通信利用の 遠隔監視制御システム」	(2005年)	①2006年度中小企業経営革新支援事業費補助金の採択を受けて研究開発を進めている。 ②インキュベーションフォーラム2006に出展(東京ビックサイト)。
鬼頭順吉 エレックヒシキ(株) 「廃プラスチック油化還元装置の販売」	(2003年)	①営業力不足にて受注に至っていない。
Y S K コバヤシ 「あせ取りパット製造・販売」	(2004年)	①熱中症対策用具を開発中。 保冷時間が短いため、別の素材を探し求めている。
(株)ディビーエス 「鉄筋工事に関連した定着金物の開発」	(2005年)	①性能試験完了。2006年11月末には認可がおりて12月から製造販売を開始する予定。 ②2006年11月、日本建築総合試験所による認定を受け販売が可能に。今後、行政等へのPRおよび全国展開を考えている。 2006年第2回産学連携ビジネス大賞において優秀賞を受賞している。
(株)ネクスト 「防弾アタッシュケースの 開発・製造・販売」	(2004年)	①防弾メーカーから開発などの依頼がくるようになった。
星野敏夫 「新しい園芸」	(2003年)	①特許申請について相談したい。
木下恵美 「住む・暮らすをまじめに楽しむサロン」	(2004年)	①ひと段落したら事業化する予定。
(有)渡邊建設 「ゴムクローラー等リサイクル事業」	(2004年)	①ゴムクローラー排出先と連携したい。販売先は確保できている。 ②2004年度、豊橋市技術支援アドバイザー制度を紹介、アドバイザー(技術士)派遣。社団法人中部経済連合会ベンチャービジネス支援センターおよび愛知県新産業振興課を紹介した。
福井ファイバーテック(株) 「樹脂加工を必要としない 車両フロアマットの新技术開発」	(2004年)	①国際展示会へ出展したいが、どの展示会が一番効果的か、海外工場への支援はできないか。

表7 ビジネスプラン進捗状況とサイエンス・クリエイトの個別支援

応募者「ビジネスプラン」 (コンテスト履歴)	ビジネスプランの進捗状況 (事務局の支援と追跡調査記録のみ)
馬場正博 (株)快活水産 代表取締役 「水浄化プラント」 (2002年 優秀賞)	水浄化プラントの開発とヒラメ陸上養殖への応用を推進。2006年、愛知県の新産業振興課および中部経済産業局、(社)中部経済連合会ベンチャービジネス支援センターを紹介。2007年6月に養殖ヒラメ初出荷を迎え、中日新聞朝刊(東三河版)に掲載され注目されている。 * 東海農政局“東海地域の先進的な取組事例情報(全国特定テーマ)水産物における産地の販売力強化の取組事例2007年7月”で快活水産が紹介されている。 http://www.tokai.maff.go.jp/somu/joho/genchi/2006/tokutei/t0607-03.html
森田通夫 大栄(株) 代表取締役 「栽培環境改善」 (2003年 最優秀賞)	高濃度酸素溶解装置の開発と応用分野を開拓中。2004年度、第23回豊橋商工会議所科学技術賞を受賞し、T・H・A河川・湖沼浄化システムを愛知万博協会へ松浦元男審査委員長の推薦、2005年9月愛・地球賞を受賞。また、2005年第1回産学連携ビジネス大賞においてニューフロンティア部門で優秀賞を受賞。2006年10月には経済産業省の新連携対策事業の認定を受け、開発・販売を進めている。 * 中部経済産業局“報道発表2006年10月20日で中部の新連携計画”に認定された事業概要が紹介されている。 http://www.chubu.meti.go.jp/chuki/16shinrenkei/page16-061020-nintei/061020press-nintei.pdf
成田茂雄 マリン・サポート 代表 「渥美半島でのマリン・レジャー展開」 (2003年)	2006年6月14日、豊橋市役所内 記者クラブにて第5回東三河ビジネスプランコンテスト記者発表を行った際、活発な活動を続ける企業として情報提供。中日新聞2005年6月25日朝刊(東三河版)に掲載。
都築秀夫 L&Mインターナショナル (L&M Inter-national) 代表 「農産物輸出事業の展開」 (2004年 優秀賞)	次郎柿の輸出プロジェクトを推進中。 I T 農業研究会プロジェクト(サイエンス・クリエイト内事務局)として2005年11月に香港へサンプル輸出を行い、11月22日に豊橋市役所内記者クラブで記者発表、23日各紙(中日、日経、東愛知、東日)に掲載。現在マカオへ輸出を計画。 * I T 農業研究会輸出プロジェクト http://www.tsc.co.jp/research/it_nogyo/ushutu/index.html
澤田参溜 (有)サンヨウ 代表 「木製品による骨壺」 (2004年 特別賞)	木製品による骨壺の企画・販売事業を展開中。2005年度中部経済産業局創業意識喚起活動事業*(サイエンス・クリエイト受託事業)において「起業家教育シンポジウム」パネラーとしてチャレンジ精神と事業展開の現状を報告。各紙(中日、中部経済、東愛知、東日)2005年8月25日朝刊に掲載された。 * 中部経済産業局創業意識喚起活動事業(起業家教育促進事業)報告： http://www.chubu.meti.go.jp/venture/kigyokakyoku/indexkigyoku.htm
神谷 馨 (株)メガネ流通センター 代表取締役社長 「新構造メガネフレーム」 (2004年 最優秀賞)	新構造メガネフレームの開発・製造・販売事業を展開中。2005年度中部経済産業省創業意識喚起活動事業*(サイエンス・クリエイト受託事業)において、豊橋商業高校の「起業家教育モデル授業」の講師を依頼。地元に着目した事業展開を支援している。2006年には21創業塾にて基調講演を行った。

注) 産学連携ビジネス大賞は、(社)東海地区信用金庫協会が主催するビジネスフェアにおいて2005年からはじまった顕彰事業である。東海地区40信用金庫の取引企業の中で、産学官連携を実施し研究成果が確立され、地域経済の活性化に貢献した企業、または産学官連携による研究開発中の技術シーズを持ち、地域活性化の可能性を秘めた企業で、最も優れていると認められる企業を表彰している。

注) 愛・地球賞は、(財)2005年日本国際博覧会協会が、地球環境問題の解決と人類・地球の持続可能性に貢献する100の地球環境技術を選定し、「愛・地球賞」を授与したもの(共催：日本経済新聞社)。

7 インキュベータによる産学官交流

ビジネスインキュベータは異質なモノが交流する場の創出から新事業創出のマネジメントを開始し機能する。企業は勿論、起業・創業を志す方々に役立つ様々な情報提供、各分野の専門家を交えての意見交換、事業化を促進するパートナーとのマッチングの機会そして支援機関等とのコラボレーション体制の増強を常に図っている。

(1) 新事業創出研究会

この研究会は豊橋市から中小企業技術者研修の一環としてサイエンス・クリエイトへ委託された事業である。産学の各分野から専門委員を組織して2002年から毎年6回開催し、各回5件程度の報告と意見交換などの場を設けている。コンテスト応募者や起業・創業に踏み出した方々が事業化の促進を図る活動である(表8参照)。

(2) 東三河ベンチャー交流フェア

2004年より当該年度の東三河ビジネスプランコンテスト募集活動の開始に合わせて豊橋サイエンスコアで開催している。コンテスト実行委員会による応募要項の発表と、コンテスト後に起業・創業を開始した起業家や新規事業を立ち上げた企業経営者を交えたパネルディスカッションや展示会を開催している。ただし、コンテスト応募履歴を持つ出展者は無料である。2006年度からは前年度の最優秀賞受賞者のプレゼンテーションを加えた(表9参照)。

(3) 東三河地域産学官連携フォーラム

このフォーラムは愛知県から地域産学連携推進事業の一環としてサイエンス・クリエイトへ委託された事業である。産学官連携をテーマに基調講演、パネルディスカッションはじめ展示会を実施している。産学官、産学、あるいは公的試験機関との連携

事業に到ったビジネスプランの事業展開を話題に取りあげている(表10参照)。

まとめ

革新のマネジメントは多くの公共的な課題を含み難しいといわれる。社会ネットワーク型産業育成は市民・産業・行政の連携による創造活動、社会経済の活性化と社会的使命を遂行する革新的ビジネス、そして人類の福祉と調和する新たな産業の創出を図るものである。東三河ビジネスプランコンテストは第3回まで地域の社会経済の課題と関係する事業分野を挙げて募集から表彰を企画運営してきた。第4回からはマーケット開拓、技術開発、アイディアの三部門、そして第5回からは先の三部門を問わない学生部門を設けた。各部門はビジネス・インキュベータの主な分野とも一致し、学生部門は次代を担う人材育成に繋がると考えられる。第6回実行委員会では東三河ビジネスプラン集を基に追跡調査を行い、起業機会や事業拡大を図る多数のケースが事務局から報告された。また一方、実績を積んだ事業は愛・地球賞やビジネス大賞などを受賞して社会的貢献と産学連携による成果が注目されている。新事業の起業と育成が、ビジネスの創造的な社会的貢献は勿論、多様な連携を生むことを確認できる。

【謝 辞】

サイエンス・クリエイトのインキュベーターマネージャー中野和久氏と桑名闘志也氏から多くのご示唆と資料を提供して戴いた。長時間におよぶ審査会に臨む審査委員とコンテストを企画し草の根的な募集活動を続ける実行委員の真摯な態度に敬意を表する。

東三河からこのコンテストを起点に多彩なビジネスが誕生し羽ばたき、コミュニティーの発展に寄与することを心より祈念する。

表8 新事業創出研究会における発表実績

年度	発表者 所属	テーマ
2002	藤原敏丈 (有)エス・フィールド 代表取締役	・重曹プラストの取組み
2003	川本玲子 T・R・Y 代表 成田茂雄 マリン・サポート 代表 市川貴将 (有)エクサス 代表取締役	・車いす新事業 ・マリン・サポートの展開 ・生産設備のIT化
2004	都築秀夫 L&Nインターナショナル 小林芳樹 (有)Eワーカー豊橋 代表取締役 近清 武 ワンダーエンターテイメント 代表 栗田泰生 (株)栗田工業 代表取締役	・農産物輸出事業の展開 ・各種支援事業 ・eラーニング ・空気式床暖房システムの実証
2005	平塚元久 (株)エイム 代表取締役社長 黒田光雄 (有)サポーター東海	・インターネット&パケット通信を利用した遠隔監視制御システム ・簡単に創れるシルバーアクセサリ
2006	河村八千子 マネーじゅく@豊橋 夏目 学 (株)夏目デザイン 代表取締役 安田真浪 (有)トライアングル・トラスト 代表取締役 小林芳樹 NPO日本エルダー協会 豊橋代表 小林正三 YSKコバヤシ 代表 亀頭順吉 エレックヒシキ(株)システム部長	・金銭教育で生きる力を!! ・アレルギーにやさしい住まいづくり ・街おこしコミュニティビジネス~TRY・あぐる・プロジェクト ・産地ブランド“遠州竹炭”の製造販売の戦略・戦術 ・熱中症対策用品の開発・販売について ・森林(もり)の不思議 フィトンチッドと亜臨界水

注) 豊橋市中小企業技術者研修: <http://www.city.toyohashi.aichi.jp/tech/training/index.html>

注) 新事業開発事業化研修: http://www.city.toyohashi.aichi.jp/tech/training/course/c17_new.html

表9 東三河ベンチャー交流フェア2004~2006

ベンチャー交流フェア2004 開催日: 2004年7月1日(水) 参加者数: 約140名(会議場内調査)

パネルディスカッション	三河におけるベンチャーの事業展開
パネラー 所属 (コンテスト履歴)	藤原敏丈 (有)エス・フィールド 代表取締役 (2001年応募) 大西国光 (有)OKトータルサービス 代表取締役 (2003年優秀賞) 安田真浪 (有)トライアングル・トラスト 代表取締役 (2003年応募)
パネル展示28社, 内コンテスト応募者10社	愛ペットメモリアルサービス, (有)Eワーカー豊橋, (有)エス・フィールド, L&Mインターナショナル, (株)エイム 21創業塾, ひつじや, (有)OKトータルサービス, 専光技研(現在(株)快活水産), (有)トライアングル・トラスト

ベンチャー交流フェア2005 開催日: 2005年7月1日(金) 参加者数: 約60名(会議場内調査)

パネルディスカッション	東三河で活躍するベンチャーの事業展開
パネラー 所属 (コンテスト履歴)	馬場正博 株式会社快活水産 代表取締役 (2002年優秀賞) 原田昌宏 (株)Kファクトリー 代表 (2002年特別賞)
パネル展示10社, 内コンテスト応募者5社	(株)快活水産, (有)Kファクトリー, YSKコバヤシ, 大栄(株), (有)トライアングル・トラスト

ベンチャー交流フェア2006 開催日: 2006年6月30日(金) 参加者数: 約100名(会議場内調査)

パネルディスカッション	企業内ベンチャーのススメ
パネラー 所属 (コンテスト履歴)	神藤俊郎 豊橋合同印刷(株) 代表取締役社長 (2005年最優秀賞) 山本俊三 (株)ディビーエス 代表取締役社長 (2005年最優秀賞)
パネル展示15社, 内コンテスト応募者9社	(株)イトコー, NPO法人ウイング設立準備室, (株)ディビーエス, 大栄(株), 豊橋合同印刷(株), (有)トライアングル・トラスト, (株)夏目デザイン, HONOマート, YSKコバヤシ

表10 東三河地域産学官連携フォーラム2005～2006

東三河地域産学官連携フォーラム2005 開催日：10月31日(月)～11月1日(火) 参加者：約350名			
連携事例プレゼンテーション		発表者	所 属 (コンテスト履歴)
高濃度酸素溶解装置の開発と応用事例		森田通夫	大栄(株) 代表取締役 (2003年優秀賞)
空気式床冷暖房「ツインほっと」		栗田泰生	(株)栗田工業 代表取締役 (2002年特別賞)
低コスト鉄筋定着部の開発		山本俊三	(株)ディビーエス 代表取締役社長 (2005年最優秀賞)
パネル展示の内 コンテスト応募者	大栄(株), (株)栗田工業, (株)ディビーエス, (有)Kファクトリー, (株)快活水産, (有)OKトータルサービス, マリン・サポート, (株)メガネ流通センター, (有)サンリフォームサービス		

東三河地域産学官連携フォーラム2006 開催日：10月26日(木)～10月27日(金) 参加者：約350名			
パネルディスカッション		パネラー 所属	
東三河地域における産学官連携の展望 コーディネーター：後藤圭司 (株)サイエンス・クリエイト 代表取締役社長		武田信照	愛知大学 学長
		西永 頌	豊橋技術科学大学 学長
		佐藤勝尚	豊橋創造大学 学長
食・農・環で新産業を興す コーディネーター：中野和久 (株)サイエンス・クリエイト 常務取締役 インキュベートマネジャー		石黒 功	イシグロ農材(株) 代表取締役社長
		高橋 篤	コーミ(株) 豊橋工場長
		伊藤友之	豊橋農業協同組合企画管理部 次長
		上路雅子	豊橋技術科学大学客員教授 農業環境技術研究所理事
		藤井敏夫	愛知県 産業労働部次長
パネル展示の内コンテスト応募者		豊橋合同印刷(株), 大栄(株), エレックヒシキ(株)	

資料提供：株式会社サイエンス・クリエイト (愛知県豊橋市西幸町字浜池333の9 豊橋サイエンスコア内)

資料提供：株式会社サイエンス・クリエイト（愛知県豊橋市西幸町字浜池333の9 豊橋サイエンスコア内）